平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月21日

上場会社名　アツギ株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　3529　URL　http://www.atsugi.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤本　義治
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長　(氏名) 工藤　洋志　TEL 046-235-8107
四半期報告書提出予定日　平成23年11月4日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,982	0.9	511	△44.7	178	△76.0	△48	—
23年3月期第2四半期	10,880	△3.5	924	△3.1	744	△4.0	689	57.1

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△366百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　△833百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.27	—
23年3月期第2四半期	3.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	52,531	42,638	81.0
23年3月期	53,249	43,882	82.2

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　42,538百万円　23年3月期　43,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	2.0	1,000	△39.7	600	△54.4	130	△86.9	0.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	188,195,689 株	23年3月期	208,195,689 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	11,216,242 株	23年3月期	27,828,669 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	178,003,542 株	23年3月期2Q	183,834,170 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 四半期連結財務諸表 ・・ 4
(1) 四半期連結貸借対照表 ・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書 ・・ 6
四半期連結包括利益計算書 ・・ 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 ・・ 9
(5) セグメント情報等 ・・ 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1.　当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興の兆しが見え始めてはいるものの、エネルギー問題や環境汚染問題等に対する効果的な解決策を模索中であり、継続する円高や株価低迷などにより企業収益への影響が懸念され、引き続き厳しい雇用情勢および所得環境なども加わり、景気の先行きは不透明なまま推移しております。

繊維業界においても、一部で回復の兆しはあるものの消費動向の変化や企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況において、当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専業メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、原材料高や中国における人件費高騰等のコスト増加や個人消費の低迷に加え、トレンド商品の伸び悩みによる商品構成の変化の影響を受け、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は10,982百万円(前年同期比0.9％増)、営業利益は511百万円(前年同期比44.7％減)、経常利益は178百万円(前年同期比76.0％減)、投資有価証券評価損等を特別損失に計上したことにより、四半期純損失は48百万円（前年同期は689百万円の利益）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門は、引き続きプレーンストッキングの新ブランド「ASTIGU（アスティーグ）」が順調に推移し、他のベーシック商品、セパレート商品やソックスなどが堅調に推移しました。一方でトレンド性の高い商品の伸び悩みはありましたが、秋冬商品の立ち上がりも順調に推移し、同部門の売上高は8,871百万円(前年同期比3.3％増)となりました。

インナーウエア部門は、ショーツおよびニューインナー関連商品は堅調に推移しましたが、ブラジャーおよびガードル関係の商品は伸び悩み、その結果、同部門の売上高は1,576百万円(前年同期比7.3％減)となりました。

これらの結果、繊維セグメント全体では売上高10,448百万円(前年同期比1.5％増)、営業利益は304百万円(前年同期比56.9％減)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業については、依然厳しい状況は継続しており、不動産セグメント全体では売上高319百万円（前年同期比15.5％減）、営業利益は201百万円（前年同期比5.6％減）となりました。

〔その他〕

その他の事業については、介護用品が引き続き堅調に推移し、セグメント全体では売上高215百万円（前年同期比0.7％増）、営業利益は5百万円（前年同期比9.2％増）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

〔連結財政状態〕

当第２四半期連結会計期間末における総資産は52,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ718百万円減少いたしました。これは主に、現預金の減少2,125百万円、たな卸資産の増加1,105百万円等によるものであります。

負債の部は9,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ526百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加676百万円等によるものであります。

純資産の部は42,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,244百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失48百万円と、前期決算に係る配当金541百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は81.0%(前連結会計年度末は82.2%)となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益23百万円、仕入債務の増加698百万円、減価償却費500百万円等がありましたが、たな卸資産の増加1,158百万円、売上債権の増加526百万円等により、差引391百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得等により 779 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い 534 百万円、自己株式の市場買付 298 百万円等により、871 百万円の支出となりました。

この結果、当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 2,316 百万円減少し、7,515 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成 23 年5月 13 日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成 23 年 10 月 18 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3．　四半期連結財務諸表

(1)四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,868	7,742
受取手形及び売掛金	3,401	3,923
商品及び製品	3,245	4,153
仕掛品	1,884	1,934
原材料及び貯蔵品	491	639
繰延税金資産	392	427
その他	255	395
貸倒引当金	△15	△19
流動資産合計	19,525	19,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,885	6,080
機械装置及び運搬具（純額）	2,742	2,910
工具、器具及び備品（純額）	98	114
土地	16,758	16,758
建設仮勘定	1,031	461
有形固定資産合計	26,516	26,324
無形固定資産	470	437
投資その他の資産		
投資有価証券	5,924	5,742
繰延税金資産	157	157
その他	664	673
貸倒引当金	△8	△0
投資その他の資産合計	6,737	6,572
固定資産合計	33,723	33,334
資産合計	53,249	52,531

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,297	2,973
未払法人税等	155	126
賞与引当金	143	141
その他	2,408	2,309
流動負債合計	5,004	5,551
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,460	2,460
退職給付引当金	1,297	1,300
その他	603	580
固定負債合計	4,362	4,341
負債合計	9,366	9,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	11,389	9,397
利益剰余金	6,400	5,809
自己株式	△2,772	△1,117
株主資本合計	46,723	45,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	△66
繰延ヘッジ損益	△940	△957
土地再評価差額金	△1,483	△1,483
為替換算調整勘定	△533	△750
その他の包括利益累計額合計	△2,946	△3,257
少数株主持分	106	99
純資産合計	43,882	42,638
負債純資産合計	53,249	52,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	10,880	10,982
売上原価	6,471	6,845
売上総利益	4,408	4,136
販売費及び一般管理費	3,483	3,625
営業利益	924	511
営業外収益		
受取利息及び配当金	85	90
持分法による投資利益	10	14
その他	42	34
営業外収益合計	137	138
営業外費用		
租税公課	18	32
為替差損	277	406
その他	23	32
営業外費用合計	318	471
経常利益	744	178
特別利益		
投資有価証券売却益	2	－
特別利益合計	2	－
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	16	8
投資有価証券評価損	13	145
投資有価証券売却損	2	0
特別損失合計	32	155
税金等調整前四半期純利益	714	23
法人税、住民税及び事業税	26	67
法人税等調整額	△3	4
法人税等合計	23	72
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	691	△49
少数株主利益又は少数株主損失（△）	1	△0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	689	△48

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	691	△49
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△708	△77
繰延ヘッジ損益	△454	△16
為替換算調整勘定	△355	△241
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	18
その他の包括利益合計	△1,525	△316
四半期包括利益	△833	△366
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△826	△359
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△6

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	714	23
減価償却費	536	500
のれん償却額	23	23
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△26	3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	△7	△1
受取利息及び受取配当金	△85	△90
持分法による投資損益（△は益）	△10	△14
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	0
投資有価証券評価損益（△は益）	13	145
有形固定資産売却損益（△は益）	0	－
有形固定資産除却損	16	8
売上債権の増減額（△は増加）	△187	△526
たな卸資産の増減額（△は増加）	△767	△1,158
仕入債務の増減額（△は減少）	483	698
未払消費税等の増減額（△は減少）	△54	7
その他	△117	△14
小計	532	△397
利息及び配当金の受取額	88	93
法人税等の支払額	△34	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	△391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△261
定期預金の払戻による収入	－	33
有形固定資産の取得による支出	△728	△505
有形固定資産の売却による収入	0	－
無形固定資産の取得による支出	△79	△5
投資有価証券の取得による支出	△138	△61
投資有価証券の売却による収入	115	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△830	△779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△541	△534
自己株式の増減額（△は増加）	△2	△336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544	△871
現金及び現金同等物に係る換算差額	△278	△274
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,065	△2,316
現金及び現金同等物の期首残高	9,951	9,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,885	7,515

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間 （自　平成22年4月1日　～　至　平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,288	377	10,666	213	10,880	－	10,880
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	0	－	0	(0)	－
計	10,288	377	10,666	213	10,880	(0)	10,880
セグメント利益	706	213	919	4	924	(0)	924

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の製造・仕入・販売であります。

(注) 2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 （自　平成23年4月1日　～　至　平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,448	319	10,767	215	10,982	－	10,982
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	1	－	1	(1)	－
計	10,449	319	10,768	215	10,984	(1)	10,982
セグメント利益	304	201	505	5	511	(0)	511

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

(注) 2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月13日の取締役会決議により、平成23年5月31日付で、自己株式2,000万株の消却を行いました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本剰余金が1,991百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末における資本剰余金は9,397百万円となっております。